

令和 2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
基本事業 04 公共交通網の充実
主管課： 都市計画課
関係課： 都市計画課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。
------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1日当たりバス利用者数 (人) 都市計画課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
3,575.00	4,792.00	4,616.00	5,300.00		3,900.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成30年度と比較して、176人減少しています。 (原因) 平成30年度はモコバスが3路線ありましたが、平成31年4月より2路線となり、1路線廃止になったことによるものと思われます。しかし、1便当たりの利用者数は5.6人から8.8人と増加しています。また、平成31年4月より新たな交通手段として、デマンド乗合交通の導入も要因と考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

1日当たり鉄道利用者数 (人) 都市計画課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
37,497.00	45,032.00	45,771.00	46,800.00		40,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成30年度と比較して、739人増加しています。 (原因) 人口増加とともにつくばエクスプレス・関東鉄道常総線の利用者も増えていきます。松並青葉地区への入居者が増加傾向であることから、次年度も利用者数の増加が見込まれます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

公共交通に対する市民の満足度（バス） (%)					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
23.30	23.90	19.80	26.00		30.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成30年度と比較して、4.1%減少しております。 (原因) モコバスの1路線廃止により、不便さを感じている市民が増加したと考えています。市民のニーズを満たせるような公共交通網の検証やサービス向上を図っていく必要があります。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度（鉄道） (%) 都市計画課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
74.00	72.90	70.80	75.00		76.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成30年度と比較して、2.1%減少しております。 (原因) 鉄道については、鉄道会社において、ダイヤ改正など利便性を上げる施策を行っていますが、料金の引き下げや東京駅延伸など、市民が求めるものがより高く、それに至らなかったことが一つの要因であると思われます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	94,660	95,252	55,592	89,778	89,778
人件費	12,284	15,585	16,966	0	0
トータルコスト	106,944	110,837	72,558	89,778	89,778

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

モコバスについては、平成31年4月から新たなルートにより運行を開始させました。1路線が廃止となったため、バス路線がなくなった高野地区などから苦情・要望が出ています。今後、再度ルートの検討を行い、市民のニーズを満たせるように見直しを図りたいと考えます。また、新たな交通手段として、デマンド乗合交通を導入し、1年間の実証実験を行いました。利用実態を集計したところ、本格運行に向けた期待度が高く市民にとって有効であるものと結論づけることができました。令和2年度より本格運行に移行し、引き続き改善を図りながら、効率的で利便性の高い公共交通網の形成を目指します。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]